

日本民俗学会 第 77 回年会（於・奄美大島）

第 1 回 サーキュラー

日本民俗学会第 77 回年会を下記の要領で開催いたします。本年は鹿児島県奄美市を中心とした奄美大島で行います。今回の奄美年会は、奄美市との共催、奄美大島の市町村、奄美沖縄の研究団体、奄美のマスメディアに後援をお願いして行われます。

本学会の年次大会も、近年は大学の施設設備を利用して行われることが続いてきましたが、地域に密着した開催方法を模索しようということで、今回は離島である奄美大島で年次大会を開催することになりました。開催にあたってご賛同をいただいた自治体や団体、とりわけ開催地となった奄美市に感謝申し上げます。

今年は「日本の〈南〉の民俗学―鹿児島・奄美・沖縄―」というテーマのシンポジウムを行うとともに、このテーマによる「課題セッション発表」を募り、南島の研究をテーマにした研究発表の部屋を設けます。もちろん、多様なテーマによる研究発表も歓迎いたします。

また、離島での開催ということもあり、会場数の問題もあるので、研究発表については一週間後の 11 月 8 日にオンラインの研究発表会も、年会の研究発表会として実施することにいたしました。

いくつもの新しい試みを盛り込んだ年会です。皆様奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

一般社団法人日本民俗学会 第 35 期会長 大石泰夫

主催 一般社団法人 日本民俗学会

共催 奄美市

後援 鹿児島民俗学会、奄美郷土研究会、沖縄民俗学会
奄美 FM、奄美テレビ、奄美新聞社、南海日日新聞社
龍郷町、大和村、宇検村、瀬戸内町

期日 奄美大島での大会（対面）とオンライン研究発表に分けて行います。

◆奄美大島大会

2025 年 11 月 1 日（土）・2 日（日）・3 日（月）

会場 アマホーム PLAZA（奄美市市民交流センター）

奄美市名瀬柳町 2 番 1 号

※実行委員会では宿泊等の斡旋は行いません。各自お手配ください。

◆オンライン研究発表

2025 年 11 月 8 日（土）

1. 会場アクセス

①奄美空港からバスで名瀬市街へ移動（約 60 分）

バス停「奄美空港」からしまバス空港線「こしゅく第 1 公園」または「平田町奥又」行に
乗車

②バス停「ウエストコート前」下車、徒歩約 7 分で会場「アマホーム PLAZA（奄美市市民 交流センター）」着 住所：鹿児島県奄美市名瀬柳町 2－1

※会場までの経路や会場周辺の詳細は、今後のサーキュラーにてご案内します。

2. 年会実行委員会事務局

〒894-0036 鹿児島県奄美市名瀬長浜町 5 1 7 奄美市立奄美博物館内

日本民俗学会第 77 回年会実行委員会事務局

e-mail : nenkai77@fsjnet.jp

※ お問い合わせは e-mail をご利用ください。

3. プログラム

11 月 1 日（土） 公開シンポジウム・授賞式・総会・懇親会

11:30～ 受付開始（アマホーム PLAZA 1 階マチナカリビング）

12:30～15:30 公開シンポジウム（アマホーム PLAZA 1 階マチナカホール）
「日本の〈南〉の民俗学—鹿児島・奄美・沖縄—」

15:40～17:50 研究奨励賞・日本民俗学賞授賞式、会員総会

18:00～20:00 懇親会（会場：後日案内）

11 月 2 日（日） 研究発表

9:00～ 受付開始（アマホーム PLAZA 1 階マチナカリビング）

9:30～12:00 研究発表（アマホーム PLAZA 内 1～3 階各会場）

12:00～13:00 休憩

13:00～17:00 研究発表

※プログラム内容は変更となる場合があります。

※詳細は、参加申込者に発送予定（10 月初旬）の第 3 回サーキュラーでお知らせいたします。

11 月 3 日（月・祝） 臨地研修 「奄美大島北部めぐり」

バスでご案内します。参加ご希望の方は、お乗りになる飛行機の予定時間に合わせ、下記 2
コースからお選びください。

すべて奄美市名瀬（集合場所は後日連絡）を出発し、奄美空港に到着します。再び奄美市名
瀬に戻るバスの用意はございません。戻られる方はしまバス等をご利用ください。

[笠利方面コース] 奄美市名瀬 8:00 発 → 空港 11:00 着 (3 時間・昼食なし)

研修予定箇所「ノロのトネヤ跡・秋名アラセツ行事の実施地・赤尾木のハヤ墓等」

[龍郷方面コース] 奄美市名瀬 8:30 発 → 空港 13:00 着 (4 時間 30 分・昼食あり)

研修予定箇所「屋入の石干見 (魚垣)・アマンデー・城間のトフル墓群等」

※各コース、墓地・神社・聖地を中心に回る予定です。

※各コース、定員 15~45 名 (定員に満たない場合は中止することがあります。)

	東京行		大阪行	
JAL	奄美空港発	羽田空港着	奄美空港発	伊丹空港着
	14:30	16:30	12:30	13:55
Peach	奄美空港発	成田空港着	奄美空港発	関西国際空港着
	10:25	12:50	14:55	16:30

※現在運航中の参考ダイヤです。実施は秋期ダイヤに合わせて行います。

※スカイマークで、鹿児島経由の羽田・名古屋・神戸行の便もございます。

※JAL で、福岡・鹿児島・沖縄経由で乗り継ぐ便もあります。

11 月 8 日 (土) オンライン研究発表

開催時間は申込者数によって変わるので未定ですが、対面の研究発表と同様、9:30~17:00 までの時間帯のどこでも発表できる方がお申し込みください。

4. 参加・発表申込

- 参加・発表を希望される方は オンラインフォーム、または 参加申込用紙による FAX・封書 のいずれかでお申し込みください。運営の効率化のため、オンラインフォームのご利用にご協力をお願いいたします。

オンラインフォームは第 77 回年会ウェブサイトのリンクを使用するか、
右の QR コードよりアクセスしてください。

(リンク先: <https://logoform.jp/form/3bCu/995517>)



参加申込オンラインフォーム

- オンラインフォームでの申込は 2025 年 7 月 1 日 (火) までに完了してください。
- FAX・封書による申込の場合、同封の参加申込用紙をご利用いただき、

FAX 0997-53-6206 (奄美市立奄美博物館)

封書 〒894-0036 鹿児島県奄美市名瀬長浜町 517 番地 奄美市立奄美博物館内
日本民俗学会第 77 回年会実行委員会事務局までお送りください。

2025 年 7 月 1 日 (火) 必着といたします。

- 出張依頼状が必要な方は、オンラインフォームまたは参加申込用紙の所定欄に必要事項をご記入ください。
- 託児室・託児費用補助の利用をご希望の方は、「8. 託児室・託児費用補助の申込」をお読みいただき、オンラインフォームよりお申し込みください。詳細につきましては、個別にご案内いたします。
- 参加申込用紙には、住所変更など年会に関わらない連絡事項の記載はご遠慮ください。
- お送りいただいた個人情報は、第 77 回年会に関わる事務にのみ使用し、終了後は適宜廃棄いたします。
- 第 2 回目以降の紙でのサーキュラーは、参加申込をされた方のみにお送りいたします（電子版サーキュラーは年会ウェブサイトにも掲載いたします）。

5. 年会参加費

奄美大島大会			
11/1 (土)	公開シンポジウム等参加費	前払い	当日
	会員（一般・学生）	無料	無料
	非会員（一般・学生）	無料	無料
	懇親会参加費（完全事前予約制）	前払い	当日
	会員（一般・学生）	4,800 円	6,000 円
	非会員（一般・学生）	4,800 円	6,000 円
	※懇親会は、完全事前予約制となります。当日の懇親会参加申し込みは受け付けることができませんので、ご了承ください。なお、料金の支払いについては、上記の通りとなります。 ※懇親会参加者が多数の場合は、会員優先となり、非会員の方の参加をお断りさせていただく場合もございます。		
11/2 (日)	研究発表参加費	前払い	当日
	会員（一般・学生）	無料	無料
	非会員（一般・学生）	無料	無料
	※11月2日（日）の昼食は用意いたしません。 会場周辺には、コンビニエンスストア、スーパー、飲食店がございます。 ※例会当日、会場に「周辺地図」と「有料駐車場の地図」を用意しています。 来場の際は、駐車場の台数が少ないため、公共交通機関もしくは徒歩での来場をおすすめします。 ※非会員の方は、1階マチナカホールの研究発表のみ参加できます（非会員で他会場の研究発表に参加希望の方は、発表要旨集をご購入下さい）。		

11/3 (月)	臨地研修（完全事前予約制）		前払いのみ	
	笠利方面 コース	会員（一般・学生）	4,000 円	
		非会員（一般・学生）	4,000 円	
	龍郷方面 コース	会員（一般・学生）	5,400 円	
		非会員（一般・学生）	5,400 円	
	※参加者多数の場合は申込者の会員優先となり、非会員の参加をお断りさせていただきます。 ※臨地研修の当日参加申し込みはできません。 ※龍郷方面コースは、昼食（鶏飯）の代金も含まれています。			
オンライン研究発表				
11/8 (土)	オンライン研究発表参加費		前払い	当日
	会員（一般・学生）		無料	無料
発表要旨集				
発表要旨集（電子版・PDF ファイル）			前払い	当日
会員・非会員（一般・学生）			2,000 円	2,000 円
発表要旨集（印刷版）			前払い	当日
会員・非会員（一般・学生）			3,500 円	3,500 円
※発表要旨集は原則として電子版（PDF ファイル）での公開となります。 印刷版をご希望の方は、オンラインフォームもしくは参加申込用紙の所定欄にチェックしてください。お申し込みいただいた方には、当日受付にてお渡しいたします。残部が確保できました場合のみ当日頒布もいたします。郵送等の対応はいたしません。 ※年会会場の事情により、参加者におかれましては参加費に替わり発表要旨集の作成代（印刷版には印刷費を加えた代金）の納入をお願いいたします。 要旨集にはシンポジウムと臨地研修の資料も掲載しますので、研究発表以外のプログラムにのみ参加する場合でも必ずお支払いください。				

※本年度の年会は、奄美大島での開催ということもあり、一般発表とグループ発表については対面とオンラインの発表を選択することができます。ただし、対面とオンラインの両方で発表することはできません。オンライン発表は11月8日(土)に開催されます。申込フォームにて対面／オンラインを選択してください。

なお、オンラインでの発表希望者やオンライン大会のみの参加者も、発表要旨集 2,000 円（印刷版は提供できません）をお支払いください。

- 発表をキャンセルする場合は、必ず年会実行委員会事務局まで、その旨ご連絡ください。未振り込みのまま連絡のない場合には、後日代金を請求させていただきます。
- 懇親会参加費・発表要旨集・臨地研修費の納入期限は9月12日（金）です。それ以降は年会当日に、当日料金でお支払いください。オンライン発表のみの参加者へは、事前に納入された方にのみ発表要旨集・ミーティング URL 等をメールでお送りします。

- 一度納入いただいた参加費等は、原則として返却いたしません。ご了承ください。
- 納入方法は第2回サーキュラーにてお知らせいたします。

6. 研究発表（対面：11月2日、オンライン：11月8日）

一般発表

- 発表20分・質疑応答5分・移動5分を原則とします。
- 一般発表を行う方は、オンラインフォームもしくは参加申込用紙にてお申込ください。
- 発表内容は未発表のものに限ります。
- 対面での各会場にPC用プロジェクターを用意いたします。PC使用の場合は各自ご持参ください。発表会場のプロジェクターはHDMI接続です。接続に必要なアダプター等は各自でご用意ください。
- 発表は日本語でお願いします。

グループ発表

- 統一テーマのもとで4名以上の発表者からなるグループ発表を受け付けます。うち1名をグループ発表の代表者としてお申込ください。
- 代表者以外の発表者・コメンテーターも各自「研究発表申込」を行ってください。特にコメンテーターは申込をされなかった場合、氏名がプログラムに記載されませんのでご注意ください。
- グループ発表の時間枠は120分となります。枠内の時間配分は代表者にお任せいたします。
- グループ発表には学会側からの座長の配置はいたしません。グループ内で適宜司会をご設定ください（グループ発表の司会はプログラムには記載はいたしません。ご了承ください）。
- 対面でのグループ発表で利用できる機材は一般発表と同じです。

課題セッション発表

- 課題セッション発表とは、年会実行委員会が提示した課題（テーマ）に沿った個人発表を募集する形式です。発表時間・利用できる機材は一般発表と同じです。
- 今大会の課題セッションでは年会テーマと重ね、「日本の〈南〉の民俗学—鹿児島・奄美・沖縄—」のテーマで、当域に関する研究発表を奄美会場とオンラインの両方で募集します。
- 課題セッション発表を行う方は、オンラインフォームもしくは参加申込用紙にてお申込ください。

※ 同一人が個人発表・グループ発表・課題セッション発表に、あるいは対面とオンライン発表に同時に申し込むことはできません。

※ 発表時間帯の指定はできません。

※ 申込後、期限（8月31日（日））までに発表要旨をお送りください。詳細は第2回サーキュラーにてお知らせいたします。

7. 発表資格

- 第77回年会における発表資格条件は、2025年5月末日時点で2025年度の会費を納入済みの会員および名誉会員です。なお新入会員については、2025年5月11日開催の理事会で入会を承認されている必要があります。余裕をもってお申し込みください。
- 期限（8月31日（日））までに発表要旨の提出がない場合、発表は自動的にキャンセルとなりますので十分ご注意ください。

8. 託児室・託児費用補助の申込

- 会場もしくは会場周辺に、有料の託児室を設置いたします。また、年会に参加する会員がご自宅近くの託児所やベビーシッターを利用される場合にも、その費用の一部を補助します。
- 補助の対象となる託児先は、託児の人数・日付・時間と連絡先・支払い額が明記された利用明細を提出できる事業者を利用した場合とさせていただきます。補助金額の割合や上限については、託児室の料金設定とあわせて検討中です。補助の支払いは、年会終了後に、大会実行委員が利用明細を確認した後となります。

託児室・託児費用補助を希望される会員は、オンラインフォーム（4頁参照）よりお申し込みください。詳細につきましては個別にご案内いたします。

9. 書籍の販売・頒布と研究活動等情報提供の申込

会員および出版社の書籍の販売・頒布および会員・諸機関の研究活動等情報提供を行うためのブースを会場に設置します。7月下旬までに年会ウェブサイト申込方法を掲載します。申込期限は8月31日（日）の予定です。参加費は無料です。

10. 今後の日程

- オンラインフォーム・申込用紙での参加・発表申込期限 7月1日（火）
- 第2回サーキュラー 7月下旬発送予定（参加申込の方のみ）
内容：諸費用納入方法、年会参加に関する連絡事項、発表要旨提出方法、書籍販売・頒布
研究活動等情報提供申込要領、発表要領、出張依頼状（希望者のみ）、他
- 発表要旨提出期限 8月31日（日）
- 書籍販売申込期限 8月31日（日）
- 懇親会参加費・発表要旨集代・臨地研修参加費納入期限 9月12日（金）
- 第3回サーキュラー 10月初旬発送予定（参加申込の方のみ）
内容：会場案内、発表要領、各発表プログラム、他

11. 公開シンポジウム 「日本の〈南〉の民俗学 ―鹿児島・奄美・沖縄―」

これまで日本民俗学会が日本の〈南〉で企画してきた年会は、1990年代初頭の計2回であった。その場所とテーマは、1990年の沖縄大会における「沖縄民俗研究の展望―東アジアの中の沖縄―」、1994年の鹿児島大会における「南九州の民俗の地域性と民俗学」で、それぞれ開催地の民俗を理解する方法の検討や視座をめぐって企画されてきた。本年会の奄美大島での開催は、そこから約30年ぶりの日本の〈南〉での年会となる。奄美大島は、奄美群島（奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島）を構成する島のひとつである。当域は行政区画のうえで鹿児島県に含まれているが、中世相当期に琉球国の版図に含まれていた歴史的経過から、言葉、芸能、行事等には沖縄県域に通じた民俗文化が保持されてきたことが知られている。

それによって本年会では、鹿児島・奄美・沖縄の民俗に焦点を当てていく。パネリストには各地域の民俗学会員に登壇を依頼し、研究動向を語っていただくことにしたい。また、民俗学が研究対象としてきた幅広いテーマがある中から、特に民俗芸能を取りあげ、鹿児島・奄美・沖縄の広がりの中で現況を確かめ、今後の日本の〈南〉の民俗学の更なる進展へとつなげていきたい。

進行 久万田 晋／沖縄県立芸術大学〈沖縄〉

服部比呂美／國學院大學〈東京〉

登壇 小島 摩文／鹿児島純心大学〈鹿児島〉

町 健次郎／瀬戸内町立図書館・郷土館〈奄美〉

萩原 左人／琉球大学〈沖縄〉

笹原 亮二／元国立民族学博物館教授〈大阪〉

飯田 泰彦／竹富町史編集係〈沖縄〉

澤田 聖也／東京藝術大学〈東京〉

【研究奨励賞・第3部門】のエントリーについて

本年度の総会で改正された本学会研究奨励賞には、新しく年会における学生会員の口頭発表に対して賞を授与する第3部門が設立されました。これに応募するには以下の条件があります。

- 1) 年会に参加申込をし、「一般発表」もしくは「課題セッション発表」の研究発表の申込をして研究発表を行うこと（オンライン研究発表可）。
- 2) 年会申込とは別に「研究奨励賞第3部門」にエントリーすること。
- 3) 所定の期日までに要旨を提出すること。
- 4) 第一次審査（提出した要旨による審査）合格者は、年会第一日目の10時から対面で実施する第二次審査（口頭発表）を受けること（オンライン研究発表可）。

エントリー方法などについては第2回サーキュラーでお伝えします。